

香川大学生のための
**海外留学・研修
ハンドブック**

2020-2021

香川大学国際ナショナルオフィス
<https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>



はじめに

香川大学では年間300名以上の学生が海外留学をしていますが、その目的は、外国語の習得や専門知識の獲得、異文化の体験などさまざまです。また、キャンパスのなかで外国人留学生や外国人教員と交流することで、外国語の向上や異文化の体験が可能です。

このハンドブックでは、香川大学でどんな海外留学ができるのか、留学を実現させるためにはどんな手続きが必要なのか、どんな留学をいつ経験するのが効果的のかなど、在学中の海外留学を検討しているみなさんが必要とする情報を簡単にまとめてあります。大学生活をより有意義に、より思い出深いものとするため、このハンドブックを見ながら、自分の留学の計画をしっかりと考えましょう。

「海外には関心があるけど留学は考えていない」という人、「留学にはお金がかかるから無理だろう」と考えている人もいるでしょう。そんな人もぜひ、このハンドブックを開いてみてください。みなさんの興味をかきたてる留学がきっと見つかります。大学を通して応募できる奨学金の情報も掲載しています。

このハンドブックで紹介している留学プログラムや各種情報はほんの一部です。香川大学の留学プログラムについての詳しい情報は、インターナショナルオフィスや所属学部で最新の情報を入手してください。

一度きりの大学生活です。より多くの経験を積み、広い視野を持って、今手が届くよりほんの少し高い目標にチャレンジしてください。そうすればきっと、大学生活で身に付けられるものは、想像以上に大きなものとなるでしょう。

重要なお知らせ

2020年2月末現在、新型コロナウイルス感染症により、留学の実施に影響が出ています。留学を希望する学生は、早めに関係部署にお問い合わせください。

香川大学の海外留学相談窓口

香川大学インターナショナルオフィス

【場所】 幸町南キャンパス2号館1階 国際グループ

【担当教員】 植村 友香子 E-mail: uemuray@cc.kagawa-u.ac.jp

IOWeb(留学相談)



Contents

● 香川大学 STUDY ABROAD TREE	P2
● 交換留学(交換留学とは?)	P4
● 交換留学(EXPLORE)	P5
● 交換留学(ネクストプログラム「グローバル人材育成プログラム」)	P6
● 交換留学(その他の留学先)	P7
● SUIJI-SLP「海外サービスラーニング」	P8
● 全学短期海外研修	P9
● 「海外体験型異文化コミュニケーション」	P10
● 開発途上国でのボランティア活動・インターン(JICA関連)	P11
● 「(特別講義)海外研修」	P12
● 創造工学部協定校訪問交流プログラム	P14
● 創造工学部国際インターンシップ	P15
● 食品の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型派遣プログラム	P16
● 農学研究科チェンマイ大学ダブルディグリープログラム	P17
● 留学経験者の声	P18
● 海外渡航学生のための危機・安全管理	P20
● 海外留学のための奨学金	P22
● キャンパスのなかでの国際交流活動	P26
● 海外留学情報リンク集	P27
● 香川大学との学術交流協定校一覧	P28

香川大学 STUDY ABROAD TREE

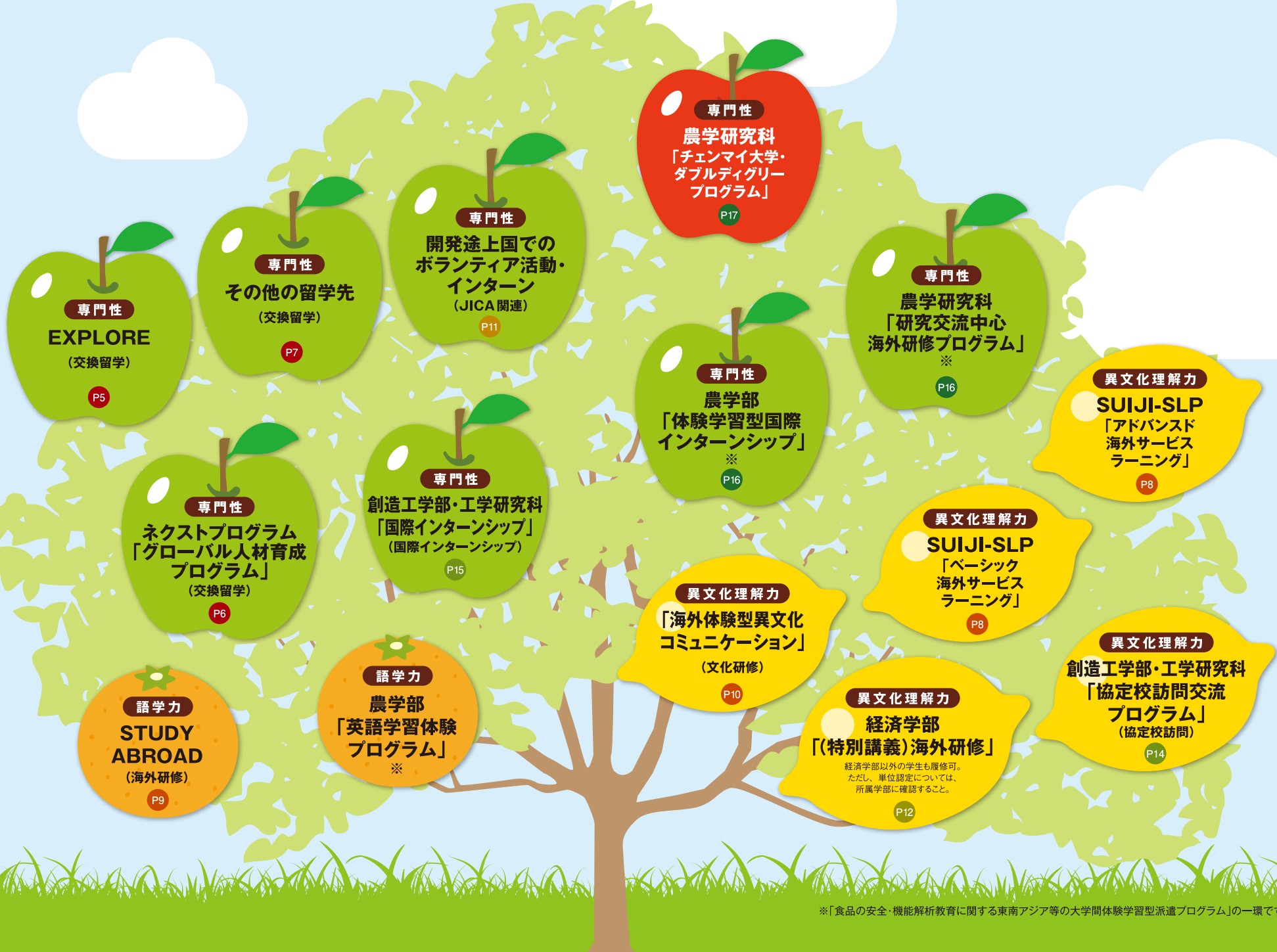
上級

難易度

初級

香川大学 STUDY ABROAD TREE

香川大学 STUDY ABROAD TREE





交換留学 交換留学とは？



交換留学 EXPLORE

交換留学ってどんなもの？

香川大学の正規課程の学生が、本学に在学・在籍したまま、学術交流協定を締結している海外の大学において学びます。1年を限度として1学期または複数学期の間、科目履修または研究指導などの教育の機会を得る留学を指します。

交換留学の特徴

- ★香川大学へ授業料を納めていれば、留学先の授業料は必要ありません(例外もありますので、詳しくは、インターナショナルオフィスへお問い合わせください)。
- ★留学先で取得した単位は、所定の手続きを経て香川大学の単位として認定されます(例外もありますので、詳しくは、インターナショナルオフィスへお問い合わせください)。
- ★留学先の大学で、現地の学生とともに正規の授業を受けることができます(ただし、一定の語学力が必要です)。

交換留学の手続きの流れ

交換留学には通常、留学開始の1年、または1年半前からの準備が必要です。留学を思い立つてから留学開始までの流れについては以下を参考にし、早めに準備を始めましょう。



問合せ インターナショナルオフィス 植村 (087-832-1197 / uemuray@cc.kagawa-u.ac.jp)

EXPLOREとは？

EXPLOREは、本学の学術交流協定校であるブルネイ・ダルサラーム大学(ブルネイ・ダルサラーム国)およびチェンマイ大学(タイ王国)における交換留学です。本制度による留学を通して、専門知識と技能、語学力を高め、国際化する地域の諸課題を解決する能力を養うことを目的としています。

本制度で派遣される学生は留学先の大学において、本学での専攻分野に応じた科目を受講します。本制度で受講できる科目は両大学とも、主として英語による科目です。授業料は相互不徴収(香川大学へのみ納入)です。

香川大学の所属学部における審査を経て、留学先で取得した単位を本学の単位として認定することが可能です。

【応募資格】

- 1 香川大学の正規課程の在籍学生。
 - 2 留学先での学修および生活に足る外国語能力を有する者(TOEIC600、TOEFL500、IELTS5.0以上を目安とする)。
 - 3 学業成績が優秀である者(GPA2.5以上を目安とする)。
 - 4 留学先の学則等に従って行動できる者。
- ※これは平成31年度募集の要件であり、次年度以降変更される場合があります。

【募集人数・留学期間】

ブルネイ・ダルサラーム大学……………5名以内	チェンマイ大学……………3名以内
(第1セメスター)8月～12月	(第1セメスター)6月～10月
(第2セメスター)翌年1月～5月	(第2セメスター)11月～翌年3月

【応募時期】

毎年度1月初旬応募締切の予定です。
各年度の応募時期や締切については、秋(11月頃)にお知らせします。

【留学費用】

香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)に応募できます。

※この事業については、所属学部学務係、または国際グループへ問い合わせること。

問合せ インターナショナルオフィス 植村 (087-832-1197 / uemuray@cc.kagawa-u.ac.jp)





交換留学

ネクストプログラム 「グローバル人材育成プログラム」



交換留学

その他の留学先

グローバル人材育成プログラムとは？

香川大学ネクストプログラムの一つで、グローバル化の進む地域社会の課題解決に貢献できる人材、国際的に通用する語学力と専門知識や技能をもつ人材の育成を目指し、語学力の向上と在学中の海外留学(原則として1年間)の実現をサポートするプログラムです。英語圏(アメリカなど)の大学への留学を目指す英語コースと中国語圏(中国、台湾)の大学への留学を目指す中国語コースがあります。

ネクストプログラムのために開設された特別授業と自宅学習により、1年半~2年間の語学集中訓練を積みます。その後、語学検定試験(TOEFL、HSK)で基準以上のスコアを取得すると、ネクストプログラムの留学対象者となります。

グローバル人材育成プログラムの特徴

- ★留学にむけて語学力向上を目指したプログラム関連授業科目
- ★ネイティブスピーカーとの対話レッスン(Skype等)

授業プラス自律学習によりTOEFL、HSKの基準スコア突破を目指します。

※ TOEFLはアメリカ留学に必要な英語検定試験です。

※ HSKは中国政府公認の中国語検定試験です。



1年間の留学

一定の語学レベルまで達した参加者は、カリフォルニア州立大学(アメリカ)、上海大学(中国)、国立政治大学(台湾)など、プログラムが指定した海外の大学で原則として1年間の留学経験を積みます。

留学にあたっては、大学が奨学金等の支援を行います(渡航費、授業料、寮費等)。

※ 本プログラムでの留学を理由に休学することはできませんので、留学期間中は大学の授業料が徴収されます。

プログラムの修了

香川大学および留学先大学でプログラムの修了要件を満たした学生には、修了認定証が発行されます。特に優秀な成績を収めたと認められる学生には卒業時に学長表彰等を行います。

プログラム説明会

英語コースは入学当初に開催されるネクストプログラム全体ガイダンス、中国語コースは中国語の授業の中で説明が行われます(中国語コースの希望者は、全学共通科目の初修外国語で中国語を履修してください)。

※ ネクストプログラムの詳細は、香川大学ネクストプログラムのホームページ(特に「履修の手引」)をご覧ください。

問合せ 教育・学生支援室修学支援グループ(087-832-1365・1363 / syugaku4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)

香川大学の交換留学制度を使って派遣されている海外の大学を一部ご紹介いたします。ここに掲載する以外の海外の協定校への交換留学も可能です。詳しくは、インターナショナルオフィスや所属学部学務係へお問い合わせください。

ドイツ・ラインマイン大学経済学部

【応募資格】

- 1 香川大学の正規課程の在籍学生(経済学部および経済学研究科)。
 - 2 専攻分野での学習目的が明確で、勉学意欲に富む者。
 - 3 学業成績が優秀である者。
 - 4 応募時点で、すでにドイツ語6単位以上を修得済みの者で、ドイツ語技能検定試験3級以上に合格した者、あるいはこれに相当するドイツ語力を証明する証明書を持つ者。
- ※これは2019年度募集の要件であり、次年度以降変更される場合があります。

【募集人数】

原則2名以内

【留学期間】

(夏学期)3月~7月 (冬学期)9月~翌年1月

【応募時期】

4月~9月

【留学費用】

1学期あたり約220ユーロ(Semester fee)、約370ユーロ(寮費)、約590ユーロ(敷金・礼金)、その他変更の可能性あり。香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できます(※)。



アメリカ・コロラド州立大学

【応募資格】

原則として TOEFL iBT 79以上、香川大学での学業成績が優秀であるもの

※応募要件は変更されることがあるので担当部署に確認に行くこと。

【募集人数】

1~2名(授業料不徴収、教育学部優先)
若干名(INTO、本科)

【留学期間】

(春学期)1月~5月
(夏学期)5月~8月
(秋学期)8月~12月

【応募時期】

前年度4月(春・夏学期)
前年度10月(秋学期)

【留学費用】

本科コースの場合、2019~2020年度、1 SemesterにつきUS\$15,000~。

例えばアカデミック英語コース(2020/6/22~8/7)の場合、\$4,450(授業料のみ)、

その他、宿泊費、ビザ取得費用などが必要。

香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できます(※)。

※この事業については、所属学部学務係、または国際グループへ問い合わせること。

問合せ (ラインマイン大学)教務課学務第二係 経済学部担当(087-832-1815 / jegakum28@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)
(コロラド州立大学)教務課学務係 教育学部担当(087-832-1411 / lgakum3@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)

日本・インドネシアの農山漁村で展開する 6大学協働サービスラーニング・プログラム

Six-University Initiative Japan Indonesia – Service Learning Program (略称 SUIJI-SLP)は、日本とインドネシアの6大学(香川大学、愛媛大学、高知大学、ガジャマダ大学、ボゴール農業大学、ハサヌディン大学)が協働して実施するプログラムです。6大学の学生がともに、四国とインドネシアの農山漁村地域に滞在し、現実社会が直面している課題に取り組みながら学びます。

現実社会の中で、他者と自分に向き合い、多様な人々と協働しながら、課題解決に向けた実践を試み、試行錯誤の経験の中から、未来社会の持続的発展に貢献できる国際的なサーバント・リーダー(地域社会で献身的に活動するリーダー)を養成することを旨としたプログラムです。

「ベーシック海外サービスラーニング」 「アドバンスド海外サービスラーニング」

【研修先】

ボゴール農業大学(Bogor site)
ガジャマダ大学(Imogiri site)
ハサヌディン大学(Spermonde site)

【内容】

上のいずれかの大学およびサイトで、インドネシアの学生と一緒に農山漁村に滞在して、実践・貢献しながら学ぶ。

【研修時期】

2～3月頃、3週間程度

【履修要件】

TOEIC420点以上(2年以内に受験のもの)。農学部以外の学生の履修も可能^(※1)。
全学共通科目主題B-2「サーバント・リーダー養成入門」、および農学部「ベーシック国内サービスラーニング」「アドバンスド国内サービスラーニング」とセットで履修することが望まれる。

(※1) 農学部以外の学生の単位認定については、所属学部に確認すること。

(※2) 香川大学・愛媛大学・高知大学のいずれかの教員が引率。

問合せ先 農学部学務係 (087-891-3005 / agakum2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)



【定員】

農学部学務係に
確認すること。

【教員の引率】

有^(※2)

【費用】

約15万円、その他雑費(履修学生負担)
日本学生支援機構の奨学金7万円(給付基準を
満たす者のみ)

「STUDY ABROAD」

社会で活躍できるグローバル人材育成のための研修プログラムを本学の学術協定校において提供します。①英語語学研修(西オーストラリア大学)と②Discover Brunei Course(ブルネイ・ダルサラーム大学)の2つのプログラムがあります。海外での経験を積むことにより、「生きた英語力」と「国際的感覚」を高めることを目的としています。



【研修先】

①西オーストラリア大学
②ブルネイ・ダルサラーム大学

【研修時期】

①8～9月、5週間
②8月、4週間

【履修要件】

全学部生

【履修方法】

全学共通科目・高学年向け教養科目「Study Abroad」として開講。

【費用】

①約50～60万円
②約20～30万円

問合せ先 インターナショナルオフィス 植村
(087-832-1197 /
uemurray@cc.kagawa-u.ac.jp)

【定員】

約15名

【本学教員の引率】

無



語学研修 — 韓国語

韓国の大邱大学で実施される韓国語研修プログラムです。夏休み中に受講することができ^(※)、期間は3週間です。

※年度により開講時期が若干異なり、本学の試験期間と重なる可能性がある。特に、春のプログラムは試験期間と大きく重なるため、紹介していない。

問合せ先 インターナショナルオフィス 高水 (087-832-1195 / takamizu@cc.kagawa-u.ac.jp)



文化研修 — 「海外体験型異文化コミュニケーション」

本授業は海外異文化体験の入門です。日本とゆかりの深い台湾は、経済的結びつきも強く、アジアの重要な拠点です。授業では、台湾中部の嘉義市に所在する台湾国立嘉義大学に行き、台湾について現地で学ぶだけでなく、現地での学生同士のディスカッションを通して、国際コミュニケーション力を養います。実際に異文化を見聞し、話し合う経験を積むことは、台湾に限らず、他の国々の人たちとコミュニケーションする際にも役立ちます。

【研修先】

台湾国立嘉義大学、嘉義市周辺

【定員】

約20名

【研修時期】

8～9月、およそ2週間(夏季休暇中)

【教員の引率】

有

【履修要件】

全学部生

【費用】

約25万円



【履修方法】

全学共通科目・主題B-2および高度教養教育科目「海外体験型異文化コミュニケーション」として開講。



▼以下は、過去の授業例です。

内 容	場 所	内 容	場 所
<ul style="list-style-type: none"> ●ガイダンスとイントロダクション、授業の説明及び確認 ●台湾に関する基本情報(宗教、祭り、産業、歴史、経済、社会等) ●香川県の紹介(プレゼンテーション用) ●中国語の講習会 ●香川大学の紹介(プレゼンテーション用) ●英語・日本語・中国語による自己紹介・プレゼンテーションの準備、予行演習 ●出国手続き、危機管理に関する講習 	日本	<ul style="list-style-type: none"> ●顔合わせ、キャンパスツアー ●中国語講座、課外研修(陶器村) ●中国語講座、課外研修(ヒノキ公園、北門) ●中国語講座、課外研修(TK Food) ●中国語講座、課外研修(故宫博物院) ●プレゼンテーション、送別会 	台湾
		帰国後、学内で <ul style="list-style-type: none"> ●成果発表会準備 ●成果発表会 	

問合せ インターナショナルオフィス ロンまたは高水
(087-832-1871・1195 / rlong@cc.kagawa-u.ac.jp、または takamizu@cc.kagawa-u.ac.jp)

開発途上国でのボランティア活動・インターン(JICA 関連)

香川大学は独立行政法人国際協力機構(JICA)と連携し、開発途上国での国際協力に貢献できるグローバル人材の育成を目指しています。またJICAと連携して開発途上国の人材を本学に留学させています。

学生が参加可能なプログラムとして、ボランティア事業への参加、JICAの国内機関・海外事務所や国際協力プロジェクト現場におけるインターンがあります。

ボランティア事業は「JICA海外協力隊(青年海外協力隊)」として知られており、原則2年間の長期派遣と、1か月～1年の短期派遣があり、年2～3回公募されます。活動分野は人的資源(理科教育、数学教育、幼児教育、青少年活動、音楽、スポーツ、青少年活動など)、農林水産(稲作、野菜、家畜飼育など)、保健医療(看護師、感染症対策、公衆衛生など)、社会福祉(障がい児・者支援、ソーシャルワーカーなど)と多岐にわたっています。今までに香川大学からは88名の学生・卒業生が長期ボランティアとして41か国での活動に参加しています(2020年3月現在)。JICAインターンは大学の春休み、夏休み期間を中心として、JICAの東京本部や地方の国内機関、海外事務所及び海外の国際協力プロジェクト現場で1～3か月程度実施するもので、年2回公募されます。将来国際協力に従事したい方はもちろん、将来海外で働いてみたい方にもお勧めします。

	JICA 海外協力隊(長期)	JICA 海外協力隊(短期)	JICA インターン
応募資格	満20歳から満69歳までの日本国籍を持つ者	満20歳から満69歳までの日本国籍を持つ者	日本語での業務遂行が可能な大学生・大学院生(国籍不問)
派遣先	アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中東の約80か国	アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中東の約80か国	JICA本部、国内機関、JICA海外事務所、国際協力プロジェクト現場
派遣期間	原則2年間	1か月～1年	1か月～3か月
募集時期	年2回(4～5月、10～11月)	年3回(3月、8月、11月)	年2回(4月、8月)
待遇など	JICAの規程に基づき往復旅費、現地生活費、住居費等を支給	JICAの規程に基づき往復旅費、現地生活費、住居費等を支給	原則自費。海外インターンの場合には旅行傷害保険加入、予防接種、滞在費について一部補助あり

それぞれの公募案件の詳細はJICAホームページ ▶ <https://www.jica.go.jp/for/join.html> で確認してください

問合せ インターナショナルオフィス 野田 (087-832-1179 / noda@cc.kagawa-u.ac.jp)

経済学部「(特別講義)海外研修」

それぞれの外国語について、現地で短期間の語学研修を行うとともに、自らが外国人となり、現地の人々と積極的に交流します。また、各種文化施設、商業施設、歴史的建造物、観光名所などを訪れ、当該国の文化・社会・歴史・生活について実践的に学びます。経済学部以外の学生の履修も可能です^(*)。

(特別講義)海外研修

アメリカ

【研修先】

ハワイ大学マノア校

【内容】

ハワイ大学マノア校において、1週間の語学研修を行う。

【研修時期】

3月上旬頃

【履修要件】

海外旅行未経験の1~2年生の参加を歓迎する。



【履修方法】

10月に経済学部および全学共通教育の掲示板にて案内する。

【定員】

15名

【教員の引率】

有

【費用】

約20万円(履修学生負担)

ドイツ

【研修先】

ラインマイン大学



【内容】

ラインマイン大学での語学研修、ヴィースバーデン市でのフィールドワークを行う。フィールドワークの目的や内容は各学生の興味関心に沿って設定する。

【研修時期】

2月末~3月上旬頃、約10日間

【履修要件】

全学共通科目のドイツ語を受講している学生。

【履修方法】

10月初旬に開催される説明会に参加した上で、10月中に参加申込書を提出する。

【定員】

12名前後

【教員の引率】

有

【費用】

約30万円(履修学生負担)

フランス

【研修先】

ツール(変更の予定あり)

【内容】

フランス語学学校での語学研修および現地での実践的研修を行う。実践的研修には現地の大学や市役所を通じた交流などが含まれる。

【研修時期】

3月上旬頃、約2週間

【履修要件】

全学共通科目のフランス語を4単位以上取得済みか取得予定であること。

【履修方法】

夏休み前に、研修の概要についてのプリントをフランス語の授業時に配布するので、よく読んで検討する。履修希望者は夏休み明けの研修説明会に出席し、説明を受けたいうえで、10月下旬に申込書兼保証人同意書を学務係に提出する。

【定員】

12名前後

【教員の引率】

有

【費用】

約30万円(履修学生負担)



中国

【研修大学】

上海大学(2021年度実施予定)

【内容】

中国語のレッスンを受けるとともに、上海大学学生との交流や上海市内の教育文化施設・企業見学などを行う。

【研修時期】

2月下旬、2週間以内

【教員の引率】

有

【定員】

12名前後

【費用】

約16万円(履修学生負担)

【履修要件】

全学共通科目の中国語を4単位以上取得、1年生の場合は前期2単位を修得し、後期開講の中国語を受講している学生。



履修方法:研修の概要についてのプリントを中国語の授業時に配布するので、よく読んで検討する。履修希望者は10月の海外研修説明会に出席し、11月上旬に申込書兼保証人同意書を学務係に提出する。

台湾

【研修大学】

真理大学

【内容】

中国語のレッスンを受けるとともに、真理大学の学生と交流を行い、台北及び淡水の教育文化施設などにおいて研修見学を行う。

【研修時期】

3月上旬頃、約2週間

【教員の引率】

有

【定員】

12名前後

【費用】

約15万円(履修学生負担)

【履修要件】

全学共通科目の中国語を4単位以上取得、1年生の場合は前期2単位を修得し、後期開講の中国語を受講している学生。



履修方法:夏休み前に、研修の概要についてのプリントを中国語の授業時に配布するので、よく読んで検討する。履修希望者は夏休み明けの海外研修説明会に出席し、11月上旬に申込書兼保証人同意書を学務係に提出する。

韓国

【研修大学】

本学の韓国協定校(例:聖公会大聖堂)

【内容】

韓国語の授業と実地研修(韓国文化社会体験)を行う。

【研修時期】

8月、2週間

【定員】

10名程度

【教員の引率】

有(協定校の教職員を含む)



【履修要件】

韓国語Iの単位を修得見込み又は取得済みの者で、研修後の後期に韓国語IIの単位を履修予定または単位取得済みの者。韓国語Iを履修中の1年生から申し込める。

【履修方法】

シラバスに説明会案内を掲載する。それを確認して説明会に出席し、案内に従って履修希望を提出する。

【費用】

約20万円(履修学生負担)

*経済学部以外の学生の単位認定については、所属学部に確認すること。また、経済学部生の参加が4名を下回る場合は実施されないこともある。

協定校訪問 — 創造工学部・工学部・工学研究科 「協定校訪問交流プログラム」

創造工学部の協定校のうちいずれか1校、または複数校を訪問します。協定校での交流や英語による研究発表の他、地元企業への訪問も行います。

【訪問先】

年度によって異なる。その年度の訪問先大学は創造工学部で確認すること。

【内容】

概要は上記の通り。
詳細は創造工学部で確認すること。

【訪問時期】

9月頃、1週間程度

【履修要件】

創造工学部生、工学部生、工学研究科大学院生

【募集時期】

4月上旬

※ 創造工学部で募集要項を入手すること。
このプログラムに応募する学生は説明会へ必ず参加すること。
また、選考後の準備会と事後報告会にも必ず参加すること。

【選考方法】

書類審査と面接審査による。

【定員】

15名程度

【教員の引率】

有

【費用】

訪問先によって費用は異なる(学生負担)。
後援会加入者でこのプログラム初参加の者には、後援会より助成あり。



問合せ 創造工学部 (087-864-2028 / kokyomu2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)

国際インターンシップ — 創造工学部・工学部・工学研究科 「国際インターンシップ」

フランス、ドイツ、フィンランド、スウェーデンにある創造工学部の協定校のうちいずれか1校のインターンシップに参加します。インターンシップ先は協定校の研究室や研究機関などです。

【留学先】

創造工学部・工学研究科とインターンシップ協定を締結している海外の大学のうちいずれか1校を選ぶこと。
創造工学部・工学研究科とインターンシップ協定を締結している海外の大学は以下の通り。

- フランス
サボア・モンブラン大学、
コンピエーニュ工科大学、
リモージュ大学、
ESIEE PARIS、
アルピ鉱山大学
- ドイツ
ボン＝ライン＝ズィーク大学
- フィンランド
ラップランド応用科学大学
- スウェーデン
ハルムスタッド大学

【内容】

概要は上記の通り。
詳細は創造工学部で確認すること。

【留学時期】

9月頃、2～6か月程度(学年によって異なる)。
詳細は創造工学部で確認すること)

【履修要件】

創造工学部または工学部3～4年生、かつTOEIC500点程度を有する者。
工学研究科博士前期課程1～2年生、博士後期課程1～2年生、かつTOEIC550点程度を有する者。

【募集時期】

12月頃

※ 創造工学部で募集要項を入手すること。
このプログラムに応募しようとする学生は事前説明会へ必ず参加すること。また、選考後の準備会と事後報告会にも必ず参加すること。

【選考方法】

書類審査と英語による面接審査による。

【定員】

約10名

【教員の引率】

無

【費用】

留学先によって費用は異なる(履修学生負担)。後援会加入者には後援会より助成あり。
香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できる。

※ この事業については、創造工学部、または国際グループへ問い合わせること。



問合せ 創造工学部 (087-864-2028 / kokyomu2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)



食品の安全・機能解析教育に関する 東南アジア等の大学間体験学習型派遣プログラム

英語学習体験プログラム

【研修先】

タイ・アサンブション大学など(予定)

【内容】

英語でタイの学生と交流することで、英語を実践的に活用し、今後の英語学習に役立てる。異なる食文化などに触れることで、日本の食の安全や機能性をより深く考えるきっかけともなる。

【研修時期】

2月下旬～3月上旬、
1週間程度(予定)

【履修要件】

農学部1～2年生

【履修方法】

10月頃、参加者募集。農学部自由科目「国際英語演習」の一環として実施。「英語活用海外実習」として単位認定可能。

【定員】

約8名

【教員の引率】

有

【費用】

約13万円、その他雑費(履修学生負担)
農学部後援会補助上限2万円(後援会加入者のみ)

体験学習型国際インターンシップ

【研修先】

ベトナム・ハノイ工科大学など(予定)

【内容】

詳細未定。後日説明会等を開催し、説明する。開催日については、農学部学務係で確認すること。

【研修時期】

9月中旬、
1週間程度(予定)

【履修要件】

農学部3～4年生

【履修方法】

4月頃、参加者募集。農学部共通展開科目「国際インターンシップ」として開講(予定)。

【定員】

約6～10名

【教員の引率】

有

【費用】

約10～12万円、その他雑費(履修学生負担)
農学部後援会補助上限2万円(後援会加入者のみ)

研究交流中心 海外研修プログラム

【研修先】

中国・浙江工商大学、南京農業大学など(予定)

【内容】

浙江工商大学の食品科学及び食品工学部にて学生の研究内容を発表し、相互に討論を行う他、南京農業大学で食品科学部の重点研究所に指定されている畜産研究所を訪問し、施設や研究室などを見学する。また、中国進出日系食品工場(杭州丘比(キュービー)食品有限公司、明治乳業(蘇州)有限公司)を訪問し、中国独自開発商品の試食などを行い、食品開発の現場や製造工場の安全・衛生管理などを学ぶ。

【研修時期】

12月頃、1週間程度

【履修要件】

農学研究科の
修士1年生以上

【履修方法】

8月～9月頃、参加者募集。農学研究科共通展開科目「国際修士インターンシップ」として単位認定可能。

【定員】

約8名

【教員の引率】

有

【費用】

約7万円、その他雑費(履修学生負担)
農学部後援会補助上限2万円(後援会加入者のみ)

※ 上記プログラムは予定です。状況によって変更となる可能性がありますので、ご了承ください。

問合せ先 農学部学務係(087-891-3005/agakum2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)



農学研究科チェンマイ大学 ダブルディグリープログラム

農学研究科 チェンマイ大学・ダブルディグリープログラム

ダブルディグリーとは、香川大学大学院農学研究科とチェンマイ大学大学院農学研究科、または農産学研究科それぞれから修士の学位を取得できるものです。このダブルディグリープログラムでは、チェンマイ大学大学院農学研究科または農産学研究科と香川大学大学院農学研究科の双方に籍を置き、両大学の指導教員から指導を受けられます。両大学の指導のもとで、最先端の科学技術を学ぶ機会を提供し、グローバルな産業界の発展に貢献できる人材の育成を目指すものです。

【留学先】

タイ・チェンマイ大学大学院農学研究科、
または農産学研究科

【履修方法】

4月頃募集。詳細は農学部学務係で確認すること。

【内容】

概要は上記の通り。詳細は農学部学務係で
確認すること。

【定員】

3名

【留学時期】

8月～翌年7月、約1年間

※ 約1年間の留学期間を含み、修士課程入学から2年半、
香川大学大学院に在籍することが求められる。

【教員の引率】

無

【費用】

約64万円、その他雑費(履修学生負担)
香川大学グローバル人材育成特定基金事業
(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できる。

※ この事業については、農学部学務係、または国際グループへ問い合わせること。



問合せ先 農学部学務係(087-891-3005/agakum2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)

留学経験者の声

香川大学の留学プログラムを利用した学生を紹介します。

熱田 尚子さん(教育学部4年生※)

留学制度 EXPLORE

留学先 ブルネイ・ダルサラーム大学
(ブルネイ・ダルサラーム)

留学期間 2019年8月~12月

私は4年生の夏休みの8月から約4か月間、EXPLOREを通してブルネイ・ダルサラーム大学へ交換留学に行きました。留学に挑戦することは大学での一つの大きな目標で、色々な国や留学方法を調べていく中で、香川大学と協定を結ぶブルネイ・ダルサラーム大学の留学を発見し、これをチャンスにまだ知らないブルネイという国で生活してみたい!と思いこの美しい国ブルネイでの留学を決意しました。



EXPLOREの留学では、海外の大学で実際に現地の学生たちと同じように学生生活を送ることができ、「英語で学ぶ」という一レベルアップした留学に挑戦することができます。また、交換留学なので現地での授業料は免除で(授業料は香川大学のみに納める)、現地で取得した単位は香川大学で単位認定が可能です。

私は、ブルネイではFaculty of Arts and Social Sciences (FASS)という学部所属し、基礎マレー語や、英語のアカデミックライティング、世界の文化や社会についてのクラスなどを受講しました。所属する学部だけでなく、興味のある他学部のクラスも受講が可能です。これまでに身につけた英語のスキルを活かして、さらに自立したローカルな留学に挑戦してみたい方はEXPLOREでの留学がぜひオススメです。

三代 涼貴さん(教育学部2年生※)

留学制度 短期留学

留学先 コロラド州立大学(アメリカ)

留学期間 2019年9月

私は、9月にアメリカのコロラド州にあるコロラド州立大学へ約3週間の短期留学をしました。

中学、高校と英語が大の苦手だった私ですが、周りが英語で囲まれた空間にあえて身を投じることでなにか変わるかもしれないと思い、留学を決意しました。

留学先では主に午前中は語学学校で英語を学び、午後は日本語クラスで学生のサポートをしたり、ECCやDunn小学校へ訪問して海外の教育現場を身をもって感じました。語学学校では「自分の英語力で内容についていけるか」「クラスの子たちと仲良くできるか」といった心配がありました。しかし、実際は先生がとてもわかりやすく優しい英語で授業をしてくださり、クラスの子たちもフレンドリーに接してくれて心配が吹き飛び、楽しく学ぶことができました。また、授業中わからないことはしっかり「わからない」と質問をする姿勢や、自分の意見を一生懸命伝えようとする姿勢にとっても刺激を受けました。その学生とは連絡先を交換し、今でもSNSで連絡を取っています。



日本語クラスではペアワークで会話の練習をしたり、会話のモデル文を読んだりしました。そこで私たちが何気なく使っている日本語の難しいところや、つまづきポイントを知ることができ、貴重な経験になりました。

私は今まで海外に行ったことがなく、留学中は刺激だらけの充実した毎日でした。日本で海外について調べることができませんが「百聞は一見に如かず」といわれるように、やはり自分の身で経験することの大切さを学びました。このプログラムは現地の治安が良く、先生の引率もあり、海外が初めてという方も安心して過ごせると思います。

片岡 亮二さん(経済学部4年生※)

留学制度 ネクストプログラム・グローバル人材育成コース(英語)

留学先 カリフォルニア州立大学
フラトン校(アメリカ)

留学期間 2018年8月~
2019年5月

香川大学に入学する前から、イギリスに1年間語学留学していた兄の影響もあり、私も留学をしたいと思うようになりました。しかし、資金面の援助もサポートもなしで一人、単身アメリカに行くとなると両親の不安も計り知れません。そこで

見つけたのがこのネクストプログラムで、留学先でも困らないように英語の学習を集中的に行い、金銭面のサポートも受けながら留学できると知り、まさに目から鱗でした。

そして約1年間の集中的な英語学習の後、アメリカへと旅立ったわけですが、やはり一筋縄ではいかないのが留学だと知りました。当然、授業も日常会話もすべて英語、友達を作るのさえ一苦労で、1年間しっかりと勉強しても授業を完全に聞き取り、理解するのはとても困難でした。そこで私はサークルに入って友達を作り、毎週その友達とハンガアウトして楽しみながら英語を学び、次第に授業も聞き取れるようになっていきました。その友達とは今でもメッセージを交換する仲です。



留学では、日本では得られない貴重な体験ができ、唯一無二の財産を得られます。語学力の向上だけでなく、単身で生活することによって人間としても一歩ステップアップすることができます。

田辺 稜さん(工学研究科1年生※)

留学制度 国際インターンシップ

留学先 ハルムスタッド大学(スウェーデン)

留学期間 2019年9月~11月

私は大学在学中に留学をしてみたいと思っていましたが、部活動や大学の授業などで十分な時間を確保できず、結局留学に行くことが出来ませんでした。そんな時に香川大学の単位認定型の国際インターンシップの存在を知り、大学院に進学しこの制度を利用することに決めました。

私はスウェーデンのハルムスタッド大学で約3か月間短期留学をして、ドライビングシミュレータの開発を行う実習をしました。実習中様々な困難に直面しましたが、周囲の方の助けもあって何とか3か月間の実習をやりきることが出来ました。



私は今回の留学で初めて海外で生活をしたことで、日本の当たり前は当たり前ではないことや、日本の良い面、あまり良くない面を発見することが出来ました。また、留学中に多くの留学生と交流し沢山会話をしましたが、もっと英語が話せたら良かったと思うことが多く、今後もっと英語を勉強したいと思うきっかけになりました。

留学は決してハードルが低いわけではないですが、日本にいると経験できないこと、発見できないこと、楽しいことがたくさんあるので挑戦してみる価値は十分にあると思います。また、留学制度を利用すると月々一定の補助があるので、少しでも留学してみたいと思っている方は制度を利用して留学に挑戦することをお勧めします!!

岡本 えみりさん(農学部3年生※)

留学制度 食品の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型派遣プログラム
体験学習型国際インターンシップ

留学先 カセサート大学・シラパコーン大学(タイ)

留学期間 2019年9月

私は、2週間のShort Visitプログラム(SV)に参加し、タイにある2つの大学を訪問しました。海外交流に興味があるものの、長期滞在は不安だった私にはぴったりのプログラムでした。

本プログラムの内容は、タイの学生と一緒に食品衛生やタイの食品加工技術に関する授業を受けるほか、日本企業のタイ工場見学や、国際学会で発表を行うというものです。私は英語力に不安がある状態での参加でしたが、皆で予習復習をする時間があるので、大きな心配をする必要はありませんでした。また、タイの学生との交流を重ねるうちに、短い期間の中で想像以上に仲良くなれた事がとても嬉しかったです。さらに、本プログラムに参加するにあたり事前学習として受講した、様々な国から香川大学に来た短期留学生のサポートと一緒にプレゼンテーションを行うShort Stayプログラム(SS)を含め、海外交流をする中で、英語力やコミュニケーション能力の高い海外の学生を見て多くの刺激を受け、自分を奮い立たせるきっかけとなりました。



大学のプログラムに参加するメリットは、金銭面での援助があることと、渡航前・渡航先でのサポート体制が整っていることだと思います。私は初めての海外が大学のプログラムだったため、留学先でも安心して過ごすことができました。海外留学は苦難もありますが、日本では見られない様々な景色を見ることができます。もし参加を迷っている方がいたら、ぜひ勇気を出して挑戦してほしいです。

※留学当時の所属

海外渡航学生のための危機・安全管理

海外渡航中に事故や病気にかかったり、犯罪に巻き込まれたりしないために、出発前の十分な情報収集や健康管理を心がけてください。また、災害や暴動などの緊急時にも慌てず対応できるように、事前に、担当教員や保護者、留学先の大学などの担当者との連絡体制を確認しておきましょう。

香川大学を通して海外へ派遣される学生は、**本学が指定する海外危機管理サービスへの加入と渡航前オリエンテーション(危機管理セミナー)への出席が義務付けられています(例年8月と2月)。**また、**個人旅行などの私事渡航の学生も、このセミナーへ出席することが求められています。**

渡航学生が取るべき危機対応要点

1. 国際情勢や、渡航先の安全性(テロ、自然災害、感染症など)についての情報収集を必ず行うこと。
(外務省、厚生労働省などのウェブページを参照)
2. 渡航中の危機に備える海外旅行保険などに加入すること。
3. 渡航先の政治・社会・文化、日本との関係や対日イメージなどを理解しておくこと。
4. 災害やテロなどの緊急時の安否確認、退避の手配などの連絡・保護が在外公館から受けられるように、必ず、外務省「たびレジ」に渡航予定を登録しておくこと。また、3か月以上外国に滞在する者は在留届電子届出システム(「ORRnet」)での滞在予定の登録も義務付けられています。
5. 本学と、緊急時に連絡できる連絡先、連絡方法を互いに確認しておくこと。
(渡航前に必ず、「海外渡航・一時帰国届」を所属学部へ提出してください。本学の制度を通して3か月以上海外渡航する場合は必ず、「海外留学誓約書」も提出してください。「海外渡航・一時帰国届」と「海外留学誓約書」の様式は各学部学務係、または国際グループでもらってください。)
6. 緊急連絡先(留学先などの電話番号や住所など)を記したメモなどを外出の際は必ず携行すること。
7. 留学先の関係者に緊急時の本学への連絡先を知らせておくこと。
8. 緊急時の保護者への連絡方法を確認しておくこと。

渡航前の手続き等チェック!

- パスポートの写しを所属学部へ提出する。
- 「海外渡航・一時帰国届」を所属学部へ提出する。
- 「海外渡航・一時帰国届」に以下の書類を添付する。
 - 渡航目的の概要(研修プログラムや飛行機のスケジュール等)が分かる資料
 - 旅行社の連絡先が分かる資料
 - 「緊急医療処置同意書」(20歳未満の場合。20歳以上も任意で提出することが望ましい。)
 - 海外旅行保険証書のコピー(本学にて一括して加入した海外旅行保険以外の保険に加入している場合)
- 「海外留学誓約書」、または所属学部指定の書類を所属学部へ提出する(本学の留学プログラムによる3か月以上の留学の場合)。
- 危機管理セミナーに出席する。
- 外務省「たびレジ」へ渡航予定を登録する(3か月未満の渡航の場合)。
- 外務省「ORRnet」で滞在予定の登録をする(3か月以上の滞在の場合)。
- 渡航や滞在予定の国や地域の安全情報を確認する。

「たびレジ」と「ORRnet」の登録はこちらからどうぞ。

ホームページ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>



自分が渡航や滞在を予定している国や地域の安全は、事前に必ず確認しましょう。外務省の海外安全情報はこちらからどうぞ。

ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>



問合せ 各学部学務係、または国際グループ(087-832-1149 / kuioryu@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)

海外留学のための奨学金

本学の学生が海外の大学などへ留学するための奨学金を紹介します。これらの他にもいくつかの奨学金がありますので、詳しくは国際グループ及び各学部学務係で確認してください。多くの奨学金は留学開始の半年、または1年以上前から募集が開始されます。奨学金の取得を目指す学生は、早い段階から準備を始めましょう。

トビタテ!留学 JAPAN 地域人材コース 「香川地域活性化グローバル人材育成プログラム」

香川県の産学官が一体となって目指している、県の各種産業の発展に欠かせない人材を育成することを目的としており、将来香川県に定着して地域活性化に取り組む意欲のある学生を支援する制度です。年に一度募集しており、支援額は他のコースとほぼ同額です。

留学テーマ

本コースは県の産業発展に欠かせない人材を育てるため、香川県が定める「香川県産業成長戦略」において成長のエンジンとなる6分野や5つの重点産業テーマに関わる留学が支援の対象となります。

【成長のエンジンとなる6分野】

- 地域資源や伝統技術を活用した特長ある食品・バイオ関連分野
- 健康関連分野
- 先端技術や基盤技術を活用したものづくり分野
- エネルギー・環境関連分野
- 高品質な農産物づくり分野
- 観光関連分野

【5つの重点産業テーマ】

- 希少糖産業
- オリーブ産業
- かがわ遠隔医療ネットワーク (K-MIX) 関連産業
- ものづくり産業
- アート産業

これら以外の分野やテーマの留学計画であっても、香川県の地域活性化との密接なつながりがあるとされる場合は申請することが可能です。

また、具体的なプログラム内容については、地域コーディネーターと相談しながら決めることも可能です。

【応募方法】

申請書類を下記 URL からダウンロードし、必要事項に記入の上、所属学部学務係に申請してください。

香川地域活性化グローバル人材育成プログラムホームページ [URL https://www.kagawa-u.ac.jp/tobitate/](https://www.kagawa-u.ac.jp/tobitate/)

官民協働海外留学支援制度 ～トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム～



官民協働海外留学支援制度～トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム～は、企業からの支援により、独立行政法人日本学生支援機構が、「産業界を中心に社会で求められる人材」「世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材」の育成という観点から支援するのにふさわしい学生を募集し、奨学金等を支給する制度です。応募に当たっては、自ら実践活動(*)を含む留学計画を立て、申請する必要がありますので、事前にインターナショナルオフィスまで相談してください。

*実践活動とは、座学や知識の蓄積型ではなく「実社会との接点」から多様な学びを得ることができる学修活動(インターンシップ、フィールドワーク、ボランティア、プロジェクトベースドラーニングに限らず、上記の趣旨に沿う多様な学修活動)のことをいいます。



問合せ先 インターナショナルオフィス 植村 (087-832-1197 / uemuray@cc.kagawa-u.ac.jp)

海外留学のための奨学金

【学生の体験談】

村林 真衣さん(工学部4年生※)

留学先 ケルン体育大学(ドイツ) **留学期間** 2019年9月～2020年2月

私はランニング用の義足を工学的に研究し、設計しています。研究を進めるにあたり、最先端の身体運動用の計測設備が研究を支えていることを知り、スポーツ義足の研究で世界トップレベルであるケルン体育大学へ留学することを決めました。

トビタテ!留学JAPANへの応募は、研究留学されていた先輩からの紹介がきっかけです。留学先では、運動動作や義足についての研究室に所属し、研究の補助を行いました。さらに、修士の授業を受けることができ、実験やディスカッション、講義を通じて、研究分野のことを学びました。

トビタテ!留学JAPANは、留学することへの熱意を第一に応援してくれることや、留学計画を自身で立てることが魅力だと思います。是非、トビタテ!留学JAPANを活用し、留学が皆さんにとって、より有意義な時間になることを祈っています。



小池 裕之さん(農学研究科1年生※)

留学先 カリフォルニア大学デービス校(アメリカ) **留学期間** 2019年8月～2020年3月

大学の研究室で海外からの留学生と話すうちに自分も海外で研究することに興味を持ちました。新しい課題に挑戦してみたいという熱意のもと、トビタテ!に応募しました。

留学先ではメダカを用いて新規タンパク質に関する研究を行いました。研究を通して、分子生物学の手法について学びました。大学内で頻繁に行われているセミナーにも能動的に参加しました。

トビタテ!ではあなたの熱意を応援しています。留学計画を一から作るようになりますが、自分自身を見つめ直すいい機会になります。さらに、地域コースであれば留学前後のインターンシップで香川県の魅力を発見できます。留学で何かを成し遂げたい、何かを変えたいという熱意、志があれば、ぜひ挑戦して欲しいと思います。



※留学当時の所属

問合せ先 インターナショナルオフィス 植村 (087-832-1197 / uemuray@cc.kagawa-u.ac.jp)
 教務課学務係 教育学部担当 (087-832-1411 / lgakum3@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)
 教務課学務第一係 法学部担当 } (087-832-1815 / jegakum28@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)
 教務課学務第二係 経済学部担当 }
 医学部学務課教務係 (087-891-2071 / mdsosenm6@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)
 創造工学部学務係 (087-864-2028 / kokyomu2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)
 農学部学務係 (087-891-3005 / agakum2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)

奨学金名称	応募資格(※)	支給額	返還義務	募集期間
独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学支援制度 (大学院学位取得型)	修士・博士の学位を取得するために留学(ダブルディグリープログラム等国際共同学位プログラムによる留学を含む)する、日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者 その他、学業成績要件、語学要件、年齢制限等がある。	〈奨学金〉 月額8万9千円～14万8千円 留学先国・地域により異なる 〈授業料〉 年間250万円を上限とする実費額 (これらの支給額については、政府予算の状況により変更する可能性がある)。	無	9月頃
独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学支援制度 (協定派遣)	本学と諸外国の大学等との学生交流に関する協定等に基づいて、本学に在籍したまま、8日以上1年以内の期間、本学が実施する派遣プログラムにより派遣される学生(大学がプログラムを申請)	〈奨学金〉 月額6万円、7万円、8万円、10万円のうち、いずれか(渡航先に応じて決定する)。	無	プログラム開始時期により異なる (掲示に注意すること)
独立行政法人 日本学生支援機構 第二種奨学金 (短期留学)	(1)本学の学生交流に関する協定等に基づく留学 (2)留学により取得した単位が、本学の単位として認定される留学 (3)大学院在籍中の学生の研究のための留学で、本学学長が有意義と認めた留学	〈大学〉 月額2万円～12万円の1万円単位から選択	有 (有利子)	留学開始時期により異なる
		〈大学院〉 月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から選択		
独立行政法人 日本学生支援機構 第二種奨学金 (海外)	学位取得を目的として海外の大学・大学院に留学を希望する者	〈大学〉 月額2万円～12万円の1万円単位から選択	有 (有利子)	進学時期により異なる
		〈大学院〉 月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から選択		
香川大学グローバル人材育成特定基金 外国へ留学する学生 援助事業	本学在籍の学生又は大学院生で3か月以上外国の大学等へ留学する者、またはダブルディグリー・ジョイントプログラムにより外国の大学へ留学する者で、部局長等が推薦する者	〈奨学金〉 月額3万円 〈準備金〉 4万円(アジア地域) 8万円(アジア地域以外)	無	留学開始時期により異なる

(※)ここに掲載している情報は平成31年度、または平成31年3月現在の情報です。最新情報、応募資格の詳細については、各奨学金の募集要項で確認してください。

問合せ先 国際グループ (087-832-1149 / kuioryu@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)

キャンパスのなかでの国際交流活動

グローバル・カフェ(幸町キャンパス)

オリブスクエア2階の「グローバル・カフェ」は、リラックスしたカフェのような雰囲気、楽しみながら語学力を高めることができる教育スペースです。授業に加え、もっと語学を勉強したい学生のために、香川大学のネイティブ教員や留学生による様々なワークショップを開催しています。また、楽しいイベントや英語力を試すプレゼンテーションコンテスト・TOEIC S&Wテストの無料受験も開催します。英語以外にも、中国語・タイ語・スペイン語等のクラスも開講しています。詳しくは、公式Twitter、Facebook、HP等で告知します。スタッフにもお気軽にお問い合わせください。



【学生 VOICE】

MUHD HAIMAN NIZAM MARZUKIさん
(International Office さぬきプログラム・
Global Café アシスタントティーチャー)

Hello readers, my name is Haiman and I am an exchange student from a small country called Brunei Darussalam. The Global Café is somewhere I went to every weekday because all of my close friends were there. I had the chance to take with many international students and Japanese students. I also had the opportunity to be an assistant teacher for an English conversation class.

During my time here, I was glad that I could help to improve the use of English for students that want to excel in it, both in the English class and during my time at the Global Café. Not only that I can help others to practice their English, I was able to improve my Japanese language quickly as well!

So if you have the time to go to the Global Café and maybe even join the English conversation class, everyone here will welcome you with open arms and make your time in Kagawa University worthwhile.



グローバル・カフェのワークショップやイベントの様子は公式SNSで公開しています。



Facebook



Twitter

問合せ先 グローバル・カフェ(087-832-1268)

幸町キャンパス以外では、イングリッシュ・カフェが実施されています。各キャンパスの掲示板や事務窓口で確認しましょう。

国際寮への入居、外国人留学生寮でのレジデンスチューター

本学の寮で外国人留学生と一緒に生活してみませんか。留学するには不安がいっぱい、でも、留学前に生活スタイルや食生活の違い、ことばの壁を体験しておけば、留学先での生活に対する不安が和らぐかもしれません。また、留学せずに異文化体験をする絶好のチャンスです。

入居者要件や募集、寄宿料などは国際グループで確認してください。

問合せ先 国際グループ(087-832-1149 / kuioryu@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)

海外留学情報リンク集

① 海外留学支援サイト

独立行政法人日本学生支援機構が運営する海外留学を考える方への情報サイトです。

ホームページ <http://ryugaku.jasso.go.jp/>



② 官民協働海外留学支援制度「トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム」

派遣留学生自らが立案する留学計画を官民協働で支援するプログラムです。

ホームページ <https://tobitate.mext.go.jp/>

ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/tobitate/>



③ 各国留学情報サイト

米国 | 日米教育委員会(日米両政府共同運営の教育交流機関)

ホームページ <https://www.fulbright.jp/study/index.html>

カナダ | AUCC(カナダ大学協会)

ホームページ <https://www.univcan.ca/>

英国 | Education UK(英国の公的機関であるBritish Councilによる留学情報サイト)

ホームページ <https://study-uk.britishcouncil.org/>

オーストラリア | Study in Australia(オーストラリア政府による留学情報サイト)

ホームページ <https://www.studyinaustralia.gov.au/japanese>

フランス | Campus France - Japon(フランス政府留学局・日本支局のサイト)

ホームページ <https://www.japon.campusfrance.org/ja>

ドイツ | DAAD(ドイツ学術交流会)

ホームページ <https://www.daad.jp/ja/>

韓国 | Study in Korea(韓国政府による留学情報サイト)

ホームページ <http://www.studyinkorea.go.kr/ja/main.do>

中国 | Study in China(中国政府による留学情報サイト)

ホームページ <http://www.campuschina.org/>

香川大学との学術交流協定校一覧(2020.1.31現在)

	大学名	主管部局	国・地域
大学間	カセサート大学	農学部	タイ王国
大学間	チェンマイ大学	農学部	タイ王国
大学間	ルイビル大学	法学部	アメリカ合衆国
大学間	サボア・モンブラン大学	創造工学部	フランス共和国
大学間	南京農業大学	農学部	中華人民共和国
大学間	ミュンヘン工科大学	創造工学部	ドイツ連邦共和国
大学間	メチョー大学	農学部	タイ王国
大学間	国立政治大学	法学部	台湾
大学間	ライン・マイン大学	経済学部	ドイツ連邦共和国
大学間	コロラド州立大学	教育学部	アメリカ合衆国
大学間	上海大学	経済学部	中華人民共和国
大学間	ハルビン工程大学	創造工学部	中華人民共和国
大学間	大邱大学	経済学部	大韓民国
大学間	カディス大学	農学部	スペイン王国
大学間	中国海洋大学	法学部	中華人民共和国
大学間	真理大学	経済学部	台湾
大学間	西北大学	経済学部	中華人民共和国
大学間	南ポヘミア大学	教育学部	チェコ共和国
大学間	ハンバット大学	創造工学部	大韓民国
大学間	電子科技大学	創造工学部	中華人民共和国
大学間	天津農学院	農学部	中華人民共和国
大学間	フランシユ・コンテ大学	創造工学部	フランス共和国
大学間	ブルネイ・ダルサラーム大学	医学部	ブルネイ・ダルサラーム国
大学間	チュロンコン大学	農学部	タイ王国
大学間	シエレバングラ農科大学	農学部	バングラデシュ人民共和国
大学間	コンピエーニュ工科大学	創造工学部	フランス共和国
大学間	トリブバン大学	創造工学部	ネパール連邦民主共和国
大学間	ムルシア大学	教育学部	スペイン王国
大学間	バツタンバン大学	農学部	カンボジア王国
大学間	王立農業大学	農学部	カンボジア王国
大学間	誠信女子大学	教育学部	大韓民国
大学間	セントピーターズバーグ大学	教育学部	アメリカ合衆国
大学間	リモージュ大学	創造工学部	フランス共和国
大学間	北京外国語大学	教育学部	中華人民共和国
大学間	長春理工大学	創造工学部	中華人民共和国
大学間	浙江工商大学	農学部	中華人民共和国
大学間	天津理工大学	創造工学部	中華人民共和国
大学間	カリフォルニア州立大学フラトン校	経済学部	アメリカ合衆国
大学間	パリ電子電気工学技術高等学院	創造工学部	フランス共和国
大学間	ガジャマタ大学	農学部	インドネシア共和国
大学間	ディボネゴロ大学	農学部	インドネシア共和国
大学間	州立ロンドリーナ大学	農学部	ブラジル連邦共和国
大学間	国立嘉義大学	創造工学部	台湾
大学間	ガイゼンハイム大学	農学部	ドイツ連邦共和国
大学間	第四軍医大学	医学部	中華人民共和国
大学間	ハノイ工科大学	農学部	ベトナム社会主義共和国
大学間	アサンブション大学	農学部	タイ王国
大学間	ハルムスタッド大学	創造工学部	スウェーデン王国
大学間	聖公会大学校	経済学部	大韓民国
大学間	東西大学校	経済学部	大韓民国
大学間	シラバコン大学	農学部	タイ王国
大学間	エックカード大学	教育学部	アメリカ合衆国

香川大学との学術交流協定校一覧

	大学名	主管部局	国・地域
大学間	中国文化大学	法学部	台湾
大学間	台湾中央氣象局	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	台湾
大学間	中東工科大学	農学部	トルコ共和国
大学間	カリフォルニア大学デービス校カリフォルニア大学理事会	農学部	アメリカ合衆国
大学間	河北医科大学	医学部	中華人民共和国
大学間	ノッティンガム大学	農学部	英国
大学間	カンボジア健康科学大学	医学部	カンボジア王国
大学間	プトラ・マレーシア大学	医学部	マレーシア
部局間	清州大学人文学部	教育学部	大韓民国
部局間	クライストチャーチ工科大学	教育学部	ニュージーランド
部局間	江西師範大学外国語学院	教育学部	中華人民共和国
部局間	ガウハチ大学地理学科	教育学部	インド
部局間	インド工科大学グワハチ校	教育学部	インド
部局間	ノースイースタンヒル大学地理学科	教育学部	インド
部局間	上海社会科学院法学研究所	法学部	中華人民共和国
部局間	華東政治法律大学	法学部	中華人民共和国
部局間	Dr.ババサヘブ・アンベッカー・マラスワダ大学経済学部	経済学部	インド
部局間	華僑大学統計学院及び数量経済研究院	経済学部	中華人民共和国
部局間	カルガリー大学医学部	医学部	カナダ
部局間	中国医科大学	医学部	中華人民共和国
部局間	ブルネイ・ダルサラーム国保健省	医学部	ブルネイ・ダルサラーム国
部局間	カリフォルニア大学マーセド校	医学部	アメリカ合衆国
部局間	ボン＝ライン＝ズィーク大学	創造工学部	ドイツ連邦共和国
部局間	国立高等精密機械大学院大学	創造工学部	フランス共和国
部局間	トレド大学	創造工学部	アメリカ合衆国
部局間	ラップランド応用科学大学	創造工学部	フィンランド共和国
部局間	漢陽大学工学部及びブレイン・コリア21機械工学科	創造工学部	大韓民国
部局間	北京師範大学化学学院	創造工学部	中華人民共和国
部局間	北京理工大学生命学院	創造工学部	中華人民共和国
部局間	アルピ鉱山大学	創造工学部	フランス共和国
部局間	宝鶏文理学院化学工学院	創造工学部	中華人民共和国
部局間	陝西科技大学材料科学工程学院	創造工学部	中華人民共和国
部局間	キャンベラ大学	創造工学部	オーストラリア連邦
部局間	タツカ大学生物科学部	農学部	バングラデシュ人民共和国
部局間	ミシガン州立大学農学・自然資源学部	農学部	アメリカ合衆国
部局間	ボゴール農業大学農学部、大学院研究科	農学部	インドネシア共和国
部局間	西オーストラリア大学自然科学・農学部	農学部	オーストラリア連邦
部局間	ブルゴーニュ大学アグロスツップ校	農学部	フランス共和国
部局間	ナンヤンポリテクニク化学と生命科学部	農学部	シンガポール共和国
部局間	ホーチミン市工科大学化学工学部	農学部	ベトナム社会主義共和国
部局間	トリノ大学農林・食品科学部	農学部	イタリア共和国
部局間	ナポリフェデリコ2世大学農学部	大学院地域マネジメント研究科	イタリア共和国
部局間	国立中正大学地球・環境科学部	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	台湾
部局間	バンボン工科大学地球科学技術学部	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	インドネシア共和国
部局間	M.V.ロモノーソフモスクワ国立総合大学物理学部地球物理学科	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	ロシア連邦
部局間	ペルー国家防災庁	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	ペルー共和国

香川大学との学術交流協定校一覧